

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.1	BEEランク	B <sup>+</sup>
建物名称	矢崎総業北海道販売株式会社新社屋	総合評価	★★★★★	★★★★★	
建物用途	事務所,工場,				
延床面積	5,904.54 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>この建物は特に <b>緑化への取組</b> が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア		合計	15点	/24点	
<b>A 省エネルギー</b>		Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 1.0
		Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0
				LR1 効率的運用	スコア 2.0
<b>B 省資源等</b>		Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 7.0
		Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0
<b>C 緑化</b>		Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0
		Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0		
		Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0		
<b>D 雪処理</b>		Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0

4 設計上の配慮事項	
<b>A 省エネルギー</b> 照明にはLEDの採用、換気システムの効率化を行い建物全体の消費エネルギー低減を図る。	
<b>B 省資源等</b> 主要な躯体やその他にもリサイクル資材を採用する事により資源の保護を図る。	<b>C 緑化</b> 寒冷地に強い樹種を選定し、土地の風土にあった植栽、景観を構築。敷地外周部を緑化することで、周辺環境及び景観に配慮。
<b>D 雪処理</b> 安全上必要な箇所にロードヒーティングを敷設し、地盤面に対する積雪に配慮。屋根上の積雪は雪下ろしを行い、敷地内緑地帯及び駐車場を用いて十分な雪溜めスペースをとることで、敷地内処理としている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される